

## 高齢者の就業、創業や社会活動の推進に関する構成団体の課題等

団体名	課題等
(一社)長野県経営者協会	<p>社会活動の推進について感じていること。</p> <p>企業等をリタイアして第2の人生を始めている(始めようとしている)人の中には、社会貢献活動やボランティア活動をしたいと考えている人が多いと思われる。それらの人の中には何をしても良いか判らない、とかどこにいったらよいのか判らないと云う人が少なからずいる。</p> <p>社会貢献活動、ボランティア活動の相談窓口(社協。ボランティアセンターなどがあるが)をもっと広報したり、手軽に情報が入手できる窓口を拡充しては如何でしょうか。</p>
長野県中小企業団体中央会	<p>○若年者の就業環境も厳しい中で、新卒者等と高齢者の採用についてどのように取り組みを進めることが良いか難しい状況もある。</p> <p>○地域資源を活用した、地域一体となった創業支援の取り組みの促進。(企業組合制度の活用した農産物販売・加工施設運営等)</p>
長野県商工会連合会	<p>・退職金を原資として退職後に創業を計画し、窓口に相談で来訪する創業予定者があるが、マーケティングや採算性の面で計画の見直しを要するケースがある。</p> <p>(例) ペンション等宿泊業</p>
(一社)長野県商工会議所連合会	<p>・休職者たる高齢者と求人者たる受け入れ企業間でのミスマッチ</p> <p>・雇用情勢が厳しい折、バランスのとれた雇用確保</p> <p>・高齢者が意欲を持って働けるよう、社会全体の連携、下支えが必要</p>
日本労働組合総連合会長野県連合会	別紙
(公財)長野県中小企業振興センター(ながの創業サポートオフィス)	<p>創業支援にあたっては、対象者が長年培った専門的知識や経験を活かせる形での創業が考えられるが、企業内では分業が進展しているため、その経験だけでは、経営全般的なスキルが不足していたり、豊富な経験がかえって経営上の客観的な見方を阻害するなどのリスクが少なくないと思われ、資金調達(自己資金の充実)の検討等と併せて、創業上の課題と考える。</p>
(有)おかあさんの味処たんぽぽ	<p>・年齢に関わらず、誰でも働ける間は役目を持って生活することが健康にも望ましいと思う。</p> <p>・社員とは別に自分の農産物を出荷していただいている女性(65歳以上)が30名近くいるので、その方々の技術を借り、また、農業を続け生産にたずさわるような会社との絆を作るような努力を重ねていきたいと考えている。</p>

<p>(社福)長野県社会福祉協議会</p>	<p>地域でのボランティア地域活動については、時間に余裕のあるシニア層の力によるところが非常に大きい。活動者の内訳として女性が圧倒的に多く、男性の参加が増えないことが多くの活動団体に共通する悩みだが、それぞれ活動を楽しむ工夫を凝らしている。</p> <p>また、自宅の開放や場づくりなどで、地域につながりを生み出す活動なども各地で行われているほか、小規模な（自家消費用なども含め）農業を生業にわたって続けながら地域の活動に携わる人も多い。こうした活動は「自分の能力を活かして必要とされる」大切な生きがいの一つになっている。</p>
<p>NPO 法人長野県高齢者福祉協会</p>	<p>第一線を退いた方々が、生きがいを持って働ける場所の提供が必要</p>
<p>NPO 法人長野県介護支援専門員協会</p>	<p>高齢者は、自分で趣味や技を持っていて、まだ、能力はあっても、その能力を生かすためにはどこに相談したらよいかかわからないでいる方が多い。自分の力を行使できれば、生きていく意欲が湧くが、役に立てる場がないことなどで、だんだんと意欲が低下してしまう傾向がある。</p> <p>趣味や力を生かせる『場』づくりが必要ではないか。</p>
<p>(公社)長野県シルバー人材センター連合会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳継続雇用、年金支給開始年齢の段階的引き上げ等による会員入会者の減少</li> <li>・適正就業の推進に伴う契約額の減少</li> </ul>
<p>(公財)長野県長寿社会開発センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シニア大学が担うべき「高齢者の社会参加活動を支える人材の育成」という役割を果たしていくためには、主に市町村等が実施している「高齢者大学」と講座内容の違いを持たせるとともに、シニア大学生が卒業後に、社会参加活動の実践力をより高めていくための「活動する場の確保」「コーディネート機能」が必要である。</li> <li>・人生90年時代を見通す中で、高齢者の多様な生き方の実現に向けて、センターが時代に合った役割を担っていけるよう、市町村や関係団体等と協議を行いながら、事業のあり方を検討していくことが必要である。</li> </ul>
<p>(一財)長野県老人クラブ連合会</p>	<p>若手会員の加入が少なく、後継者（リーダー）不足が課題となっています。</p>
<p>(一社)信州・長野県観光協会</p>	<p>ボランティアガイドは、ややもすると高齢者の生き甲斐対策的な意識と取組に成りがちであるが、観光旅行者にとってガイドは、その地域の暮らしや伝統・文化等を熟知された専門家と見ているので、プロ意識を醸成する必要がある。</p> <p>また、ガイド中に事故等が発生した場合には賠償責任が発生する可能性があるため、ボランティアでなく有償化（保険加入）も検討すべき。</p>
<p>JA 長野中央会</p>	<p>高齢となると農作業事故の発生率が高く、農業機械による重篤事故も減らない。JAとしてもあらゆる機会を通じて注意喚起している。</p>

長野県公民館運営協議会	○ 活動参加者が60歳で退職された方等の比較的若い年齢層の参加者が少なく、特定されがちである。
西和田ボランティア	ボランティア会員の高齢化（会員の平均年齢は72.3歳）による諸活動への参加者減と新規会員加入問題、いわゆる後継者不足がこれからの深刻な課題と考えています。 次世代を担う人達に声をかけ、地域ボランティアに参加していただけるよう、頑張りたいと思っています。
長野労働局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢化の進展 = 労働力人口の減少の状況を踏まえた高齢者の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 若年、女性、高齢者、障害者など働くことができる人全ての就労促進を図り、社会を支える全員参加型社会の実現</li> </ul> </li> <li>・ 年金支給開始年齢の段階的引き上げに対応した高齢者雇用確保措置の確実な実施</li> <li>・ 高齢者の再就職の困難性と失業の長期化という現実への対応</li> <li>・ 多種多様な高齢期における就業ニーズへの的確な対応</li> </ul>
千曲市	◎高齢者の就業支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シルバー人材センターへの登録者の減少が課題。もともと女性の登録は少なく、約1/4ほどの状況です。（3月31日現在の全体会員数男性648名・女性246名）シルバー人材センターの作業に、女性も手軽に登録できる作業開拓ができれば会員がもっと増えるかと思います。</li> </ul> ◎社会活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老人クラブや老人大学への参加だけではなく、60歳以上の社会参加ができる新しいメニューを増やすことが必要ではないでしょうか。</li> </ul>
飯綱町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員の拡大</li> <li>・ 就業の確保</li> <li>・ 安全・就業管理</li> <li>・ 普及啓発活動</li> </ul>
津金委員 （公募委員）	高齢者を対象とするだけに、指導する方も高齢者が適していると思いますが、その人材が不足しているし、指導する場も不足していると感じます。その対策として、 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 高齢者に特化した創業塾の開催</li> <li>② その成果として、創業、事業プランの発表会（アワード） 優秀者の表彰</li> <li>③ 高齢者を対象とする創業、就業の専門アドバイザーの育成</li> <li>④ 社会活動参加の一つの方法としてNPO法人の設立</li> <li>⑤ シルバー人材センターの活用方法</li> </ol> 高齢者に元気になってもらいたい。